

I C T実践シート 高等部⑤

| | |
|----------------------------|--|
| <p>観点</p> | <p>コミュニケーション支援 ・ 活動支援 ・ 学習支援</p> |
| <p>目的・実態</p> | <p>・Ⅲ類型 生活単元学習の時間 「オンライン学習を通し、A組・訪問組双方の学習の充実を図る」 高等部Ⅲ類型（自立活動を主とした教育課程）の生徒6名。肢体不自由に知的障害を併せ有しており、医療的なケアが必要な生徒もいる。体調不良等で学習の場が十分保障できないケースがある。そこで、オンライン学習の積極的な導入を通し、学習の場の保証とともに生徒相互のコミュニケーション力向上をねらいとし取り組んでいく。また、これまでに有効と考えられた指導方法も大切にしながら進める。 コミュニケーションの方法は、発語のある生徒、発声で気持ちを表現する生徒、発語はないが目、顔の表情や身体での表現などで気持ちを伝える生徒と様々であるが、皆、友達と関わりながら活動することを楽しみにしている。</p> |
| <p>方法</p> | <p>教育機器の工夫の一つとして、i P a dを活用したオンラインでの学習を行っている。また、教科指導の中で教師が作成した Keynote を積極的に活用し、学習内容の理解に役立てている。 <高等部 A 組訪問組生単> 5～9月 「サステナ菜園：赤しそを育てよう、赤しそ染めをしよう」(Keynote) 6/22 「梅ジュースを作ろう」(オンライン) 10/5 「頑張ったことを発表しよう」(オンライン) 12/14 「スノードームを作ろう」(オンライン) 2月 「頑張ったことを発表しよう」(オンライン)</p> |
| <p>成果（有効だった点／児童生徒の変容等）</p> | <p>・オンラインの学習の機会を取り入れたことでA組と訪問組の生徒同士の交流が深まり、学習意欲が高まるなどの成果が見られた。また、生徒のコミュニケーション力向上に役立てることができた。 ・Keynote での画を含む視聴覚資料を多く取り入れることで、画像を集中して見ることが多くなり、興味関心を引き出し、学習内容の理解につなげることができた。 ・活動の様子を称賛したり、「たのしい、もっとやりたい、友達の活動をみたい」など意思表示を示したりすることも多くなった。</p> |
| <p>課題・改善案</p> | <p>・各生徒の実態に合った、より効果的な学習指導の工夫を積み重ねていきたい。</p> |
| <p>その他</p> | <p>・朝の会や学習の事前・事後学習に画像（動画も含む）を取り入れることで、見直しをもつことができたり自分や友達の活動の様子を振り返ることができ、集中して画像を観たり活動に取り組んだりする時間が増えた。</p> |